

別紙

福祉サービス第三者評価

1 評価機関

名称：一般社団法人 しなの福祉教育総研	所在地： 長野県上田市上田 180 - 6
評価実施期間： 令和7年10月17日から令和8年2月24日 *契約日から評価結果の確定日(通常、評価結果報告会日)まで	
評価調査者(評価調査者養成研修修了者番号を記載) 50431 B2020073 B18051	

2 福祉サービス事業者情報(2025年12月現在)

事業所名： (施設名) 箕輪町 上古田保育園	種別： 保育所	
代表者氏名： 町長 白鳥 政徳 (管理者氏名) 園長 小林 美紀	定員(利用人数)： 90(52)名	
設置主体： 箕輪町 経営主体： 箕輪町	開設(指定)年月日： 昭和28年 4月 20日	
所在地：〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪 6031 - 3		
電話番号： (0265) 79-2790	FAX番号： (0265) 79-2790	
電子メールアドレス： kamifuho@town.minowa.lg.jp		
ホームページアドレス：http://www.town.minowa.lg.jp		
職員数	常勤職員： 5名 非常勤職員 12名	
専門職員	(専門職の名称) 名 保育士 8名	
	園長1名 主任保育士1名 保育士補助 1名	
	保育士3名 調理員 3名	
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	1・2歳児保育室 1室	屋外運動場
	3歳児保育室 2室	
	4歳児保育室 1室	滑り台・ブランコ・雲梯・鉄棒・太鼓橋 ジャングルジム・上り棒
	5歳児保育室 1室	
遊戯室 1室		
和室 1室	プール	
調理室 1室		

3 理念・基本方針

<p>【箕輪町保育理念】</p> <p>◎子ども一人一人を大切に、保護者や地域に愛される保育園を目指します。</p> <p>【箕輪町保育方針】</p> <p>1 養護と教育を一体的に行い、子どもの発達を支援します。</p> <p>2 保護者の気持ちを受け止め、共に子育てをします。</p> <p>【園目標】</p> <p>◎丈夫な身体 元気な子ども ◎明るくやさしく 素直な子ども</p> <p>◎みんなと仲良く遊べる子ども ◎あいさつのできる子ども</p>

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

◇箕輪町の特徴◇

箕輪町は、長野県のほぼ中央に位置し、自然と景観に恵まれた町です。長野県内の「町」では最も人口が多く、病院や商業施設、働く場所も多くあり、東京、名古屋どちらからも3時間程度で来られる抜群のアクセスの整った生活に便利な町でもあります。中央アルプスと南アルプスに囲まれ、美しく山々が色づく秋が印象的な伊那谷。中でも、もみじ湖は屈指の景勝地です。1992年に箕輪ダムが完成し、ダムに沈んでしまった集落の方が、将来にわたってダムが愛されるようにと育成し寄付された苗木を植林したという心温まるエピソードが残されています。国内旅行情報サイトの「全国のおすすめ紅葉スポットランキング」で3年連続1位を獲得したことで、全国的にも広く知られる場所となりました。空気も澄んだ気持ちの良い秋のもみじ湖は、1度訪れたら忘れられない圧巻の光景が広がり、何度でも訪れたいと思える素晴らしいところです。

◇箕輪町の取組◇

箕輪町では、子ども・若者・子育て家庭を支え、応援していくための取組を総合的に推進していくため、令和7年4月からの5年間を計画期間とする『箕輪町子ども計画』を策定しました。この計画は、これまで推進してきた『第2期子ども・子育て支援事業計画』を第3期子ども・子育て支援事業計画として内包し、子ども・若者・子育てに関わる総合計画として位置づけています。

【基本理念...すべての子ども・若者が 心も体も 幸せに暮らす 子どもまんなかのまち】

どんな場所でも子どもの権利が守られ、子ども達の笑顔があふれるまちを目指します。

▽基本目標 1...子ども・若者の権利が守られ、安心して生活できる

すべての子ども・若者には幸せに暮らしていく権利があります。

子ども・若者が健やかに成長していくために、その権利や生活を守り、大人や地域社会に対して、子どもの権利について啓発と理解を促進していきます。

▽基本目標 2...子ども・若者が健やかに育つことができる

子ども・若者が健やかに育つためには、それぞれの発達段階に応じた支援を行っていく必要があります。行政・家庭・学校・医療・福祉・地域など関係機関等で連携し、子どもや若者への年齢や発達段階に応じた適切な支援を実施していきます。

▽基本目標 3...子育ての喜びや楽しさを実感できる

子育て当事者だけでなく、地域全体で子育ての喜びや楽しさを実感できる町を目指すために、全員で子育てを応援や協力する必要があります。

行政だけでなく、地域や事業者、NPO 団体などが連携・協働できる仕組みを構築し、さまざまな支援を行うことを目指します。

■新たな取組

・これまで推進してきた子ども・子育てを応援する施策に加え、新たな取組のスタートとして、12の取組を明記しています

・子どもまんなか社会の実現に向けて、子どもまんなかまちづくり・子どもや若者が施策を提案できる機会をつくる

・庁内の連携体制の構築（子ども・若者の居場所づくり、個人・地域・様々な主体の取組や連携 等）

【箕輪町担当課…子ども未来課】

園の特性や実情を理解し、園長会との連携、個々の保育士に沿った研修等、保育の質の向上に向けて取り組んでいます。

◇上古田保育園の特徴◇

・昭和28年4月20日に定員90名で開園しました。（現在園児数52名）

・箕輪町の保育園で最も標高の高いところに位置しています。南アルプスが一望出来、自然に囲まれた大変眺望がよいところです。

・長寿命化工事などを施している園舎です。古いですが温かみがあり、毎年の部屋の配置やトイレの使い方など、園長と保育士が工夫して生活や保育をしています

・長時間保育、未満児保育、障がい児保育、子育て相談、未就園児園開放、休日の園庭開放など行っています。

○箕輪町で策定された「箕輪町第5次振興計画」（後期計画2022~2025S）に基づき、保育方針や保育目標に沿ったランドデザインを作成し「全体的な計画」のもと「食育」「読育」に加え「みのわっこチャレンジ事業」として「みたい」「しりたい」「ふれたい」「やりたい」などの気持ちを育

める保育を進めています。

令和7年度の取り組みとして

「色々なことに挑戦してみよう」

1 丈夫な体を作る

- ・講師による バランスボール遊び（体幹づくり）
- ・講師による 体力づくり（跳び箱・鉄棒・縄跳びなど）

2 絵本に親しむ

- ・絵本の読み聞かせ
- ・家庭への絵本の貸し出し

3 感性や表現力を養う

- ・講師による リトミック・わらべ歌遊び
- ・「土育」講師による 親子陶芸体験
(3歳以上児参観日にて、年齢に合わせて皿や作りを体験)
- ・蚕の飼育と繭のクラフト体験
(蚕を飼育し、年長児が繭のクラフト体験を行いました)

○恵まれた自然の中で地域の方との関わりも深く、子ども達や保育園が地域の方々に大切に見守られています。

・平成28年には、信州やまほいく「信州型自然保育」の認定園となりました。地域の方が育てている水仙・八重桜・花桃・あやめ・ヘブンリーブルー・赤そばなどと季節を感じる事ができる花をみに散歩へでかけています。また、栗拾いの経験も毎年させてもらい、子ども達が実体験を沢山積む事ができています。

・可能な日は積極的に戸外へ出て、体を動かし遊んでいます。

・上古田地区にある運動場に天然スケートリンクが作られ、開場された期間は、園児がスケート遊びを楽しむ事ができます。

○箕輪西小学校との交流が盛んです。

園から300mの場所に箕輪西小学校があり、日頃から散歩の通路として小学校の敷地内を通り散歩に出かけたり、全園児が広い砂場で遊ばせてもらったりしています。秋には校庭のドングリを拾いに行き、小学校の行事であるマラソン大会の応援に来るようにお誘いを頂くなど、園児を快く受け入れてもらい交流を図っています。その他 学校の行事では「運動会の来入児旗拾い」「音楽会の練習参観（年長児）」をはじめ、授業の一貫としての「ごっこあそびへ」招待される（年中・年長児）保育園へ小学生が来園し一緒に「七夕飾りの制作」（年長児）「音楽会で発表した歌を全園児に披露」してくれる等、小学校が身近に感じられる環境にあります。

○令和元年から「箕輪町保育園業務支援システム」を導入し、出欠確認・登降園打刻により保護者の負担軽減を図るとともに、園から、日常の園生活をドキュメンテーションとして知らせ、感染症情報をはじめ、園だより、お知らせ、給食献立など情報を配信しています。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	2回（2021年度）
---------------	------------

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

○園長と職員と共に、子どもをまん中にして健やかな子どもの成長のために

最善の保育に取り組んでいます。

- ・小規模園であり、園児の数に対する職員数は揃っていますが、行事や戸外の活動の時などクラスの枠を外して職員同士連携し、安全に保育が行われるようにしています。その上で園長も常に保育の流れに気を配り園児の活動を最優先に、必要に応じて一緒に行動することが多くあります。
- ・毎日一日の保育が終わった夕方に、自然に職員室に集まり園長や主任と職員一人ひとりが今日の保育について話をしています。楽しさを共有し、子どもの成長を喜び合い、反省して、時には悩みを相談し、自然な形でOJTが行われています。若手の保育士の成長を見守り促し、日々の反

省を次の保育に生かしています。

- ・「信州型自然保育」を行う中でも全職員で協力し合い、こどものための保育を見極めながら活動しています。日々の活動の中で、園長も職員も園児一人ひとりの存在を理解し、把握してより良い経験や手立てを模索しながら楽しい活動を進めています。信州型自然保育を進め戸外活動を活発にするために、研修会にも参加しています。

○地域に愛され、大切にされている保育園です。

- ・山間の保育園で、地域の方々と関わり交流しています。特産の草花や栽培している花が咲く時期には、近隣の花畑に散歩に出かけ、耕作者の方達と親しく交流して花見を楽しんでいます。栗拾いにも招待されて出かけています。上手に毬を取り除くことができ、地域の方に褒められ、そのことも栗拾いの喜びにつながっています。
- ・小学校との連携が密に行われています。日常の活動の中で小学校との関わりがあり、様々な行事や遊びの中での触れ合いがされています。そのことで職員同士の連携もスムーズになり、こども達も抵抗なく入学を迎えることができます。
- ・定期的に行われる園開放の日には、未就児とこども達が関わり一緒に遊ぶ姿があります。未就児の保護者とも関わりながら楽しんでいます。中学生の職業体験や保育実習生の受け入れを積極的に行い、様々な方との関わりを大切にしています。
- ・運動場に作られたスケートリンクでは、冬期間園児がスケート靴を履き遊んでいます。靴も支えになる椅子も公共のものが準備され、最終日の頃になると支えが無くても歩いたり、滑ったりできる園児もいます。その活動を支えているのが保護者や地域の方です。遊びに行く日には、スケートリンクに集まり、スケート靴を履かせ、紐縛りを手伝うなどの協力をしてくれます。休日には家族で滑りに行くという家庭もあり、地域住民全体でウインタースポーツを楽しむ風土があります。

◇改善する必要があると思う点

- ・防犯対策については、のどかな山間部ではありますが、全職員で不審者侵入などの防犯訓練を行い、こども達の安心・安全のため常に防犯意識を持って生活していきましょう。
- ・「箕輪町保育園業務支援システム」や保育アプリにより職員の事務の軽減や働きやすい環境作りがされています。保育現場の福利厚生や働き方改革、保育人材確保のため、これからも引き続き担当課と連携して行くことを希望します。

7 時評評価の結果（詳細）と公表

- ・共通項目（別添1）
- ・内容項目（別添2）

8 利用者調査の結果

アンケート方式（別添3-1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）